

## ○ 各学年の様々な活動を通して、「生きる力」を育てる！

今までの経験なら9月と言えば、「運動会」だったのですが、本校は3年前より5月に実施しているため、9月には各学年が様々な行事に取り組んでいます。

1年生は、9月26日に防災学習を行い、災害の時の対応や段ボールベッド・避難テント設営を体験しました。先日の台風で県内各地で大きな被害があったばかり。須木でもいつ大きな災害が起こるかもしれないため、生徒は皆、真剣に話を聞き、活動をしていました。2年生は、9月12～13日に職場体験学習を行いました。実際に職場で体験し、働くことの大切さや大変さを学びました。3年生は、9月13・15日に福祉体験学習・手話講座を行い、障がいのある方から実際に話を聞き、車いす操作や手話を体験しました。これらの学習は、各教科では学べないことが多くあり、これから生きて行く上で大変役に立つ内容でした。須木中学校としても、これから様々な活動を通して、「生きる力」を育てていきたいと考えています。今回、様々な活動にご協力していただいた方々には感謝申し上げます。以下の作文は、3年生が福祉体験や手話講座を終えての感想です。

(生徒の活動の様子は、ホームページに掲載してあります。)

### 「福祉体験を終えて」

○ 3年 谷口 優心

僕は福祉体験で、初めて障がいのある人のお話を聞きました。一番心に残っているのは、一生車いす生活と医師に言われたときの話です。僕がもし一生車いす生活と言われたら立ち直れないと思ったけど、講師の方は一生懸命リハビリを頑張って乗り越えたそうです。この話を聞いて、僕はビックリし、すごくメンタルが強い人だと思いました。

他にも、車いす体験やポッチャをしました。車いすを操作するのは難しかったです。ポッチャでは講師の方とも試合をして楽しかったです。

### 「学んで感じたこと」

○ 3年 富永 幸輝

手話体験では、手話で自己紹介や歌をしました。難しく大変だったけど、相手に伝わったときは嬉しかったです。

車いす体験では、自分で操作したり、友達が乗っているの押ししたりしました。友達に押されているときは、少し速くなるだけで怖くなりました。押す力が少し変わるだけで、乗っている人の感じ方は全然違うので、ビックリしました。

障がいのある人が生活していくのは大変なこともあると思いますが、バリアフリーなど対策をすることで生活しやすくなるというのが分かりました。

## ○ 10・11月の主な予定

10月2日(日) 中体連・剣道競技

10月7日(金) 1学期 終業式

10月12日(水) 2学期 始業式

10月13・14日(木・金)

3年 学力診断テスト

10月28日(金) 須木中 公開授業日

10月31日(月)～11月2日(水)

校内テスト

※変更の場合もありますので、学級通信等でご確認ください。

## ○ 編集後記 「天災は忘れた頃に来る」(寺田寅彦)

戦前に、随筆家・物理学者であった寺田寅彦氏が残した言葉と言われている。いつも大きな災害の後に新聞等で目にする言葉でもある。ここ数年宮崎県内では大きな台風も来ず、被害もなかったためついこの言葉が思い出されました。9月18日の夜から19日の明け方にかけて台風14号が宮崎県にも接近し、県内では多くの被害がでました。保護者や地区の皆様におかれては被害の状況はどうだったでしょうか。須木中の被害状況は、窓ガラスが1枚割れる・校門のフェンスが倒れる・運動場西側のフェンスが傾く、そして木の枝や葉が大量に落ちていました。幸い本校関係では人的な被害はなく、20日からの授業再開には大きな影響がなかったのは幸いです。しかしながら、須木地区では、停電・断水等の災害があり、テレビも一部の放送局が映りにくい、携帯電話が通じないという想定外の事も起きたようです。また、県内においても、亡くなられた方もおり、今回の台風の被害の大きさが報道等から実感できると思います。少しでも早く復興できることを願うばかりです。